



本町だより

横浜市立本町小学校 令和5年 8月28日 発行 第608号

「ふれあい本町」秋物語へ

校長 田川 齊史



今年も酷暑の夏でした。ひきつづき感染症の流行も最小限に食い止めたいものです。ご家庭でも、手洗い、うがい、十分な睡眠、偏りのない食事など、健康管理にご協力ください。

月に一度、朝会で子どもたちに向けて話をします。できるだけ短くしよう、わかりやすくしようと心がけるのですが、伝えたいこと、思うことが山ほどあってどうしても長くなってしまいます。毎月毎月反省です。でも、月にたった一回の、数分だけの授業です。伝えたいことが伝わっているのか自信はないのですが、伝え続けていこうと思います。子どもたちだけでなく、教職員、大人にも…。

♪大人になっておもうこと

先日、小学校時代の「旧友たち」と会食をしました。出会ってから、もう50年以上の「旧知の仲」です。

話題はもっぱら昔話。当時流行していた漫画「サーキットの狼」や「ドカベン」のこと、テレビアニメ「宇宙戦艦ヤマト」のこと、デビューしたてのピンクレディーのこと…。淡く甘酸っぱい青春の思い出話に花が咲き、ずいぶんと長い時間、盛り上がりました。

あの頃は…と懐かしむことばかりでしたが、もう「その頃」には戻れません。電話やテレビは一家に1台だったので、親の機嫌をうかがいながらチャンネル権を獲得する中で、家庭で「コミュニケーション力」を習得したり、相手宅の様子を想像して「社会常識」のスイッチを入れてから電話のダイヤルを回し (!!) たり、電話口に出た方との会話で「失礼のないあいさつ」や「生きた敬語」を実践したりしました。遠くなった昭和の思い出です。

スマートフォンで自由に連絡し合えるなんて、夢の世界でした。わからないことがあると、すぐに「検索」して答えをゲット!!! こんな便利な「今」からはもう後戻りはできません。



失礼のない言葉遣い、SNSの正しい使用、コミュニケーションのとり方、責任とは何かなどなど、大人から子どもたちに「見本」を示してあげることが大切ではないかと思えます。

今、子どもたちは判断も思慮もまだまだ未熟なうちから、大人と同じ空間にいて、大人と同じ道具を使い、大人と同じものを見て、大人の会話の中にいることが多いはず。

はやく大人になって、大人じゃなければできないことをしたい!

私はそう思って子どもの時期を過ごし、大人になるための準備に励みました。だからこそ、子どものときに子どもじゃなければできない経験や学びをしっかりとさせることと、大人として子どもたちを守り、導くこと、子どもに「よい姿」を見せようと努力することも大切なのだと思います。

子どもたちは、大人の「背中」だけでなく、大人の「すべて」を見て、感じて、身に付けていると思うことが多くあります。音楽通りの一方通行を逆走する自転車、横断歩道で止まらない自動車、歩きながらスマホに夢中…など、子どもたちが見ているということ意識していきたいと感じます。

